

令和6年度 放課後等デイサービス自己評価表

ビーライトしんわ・しんわブライト

		チェック項目	はい	わからない	いいえ	意見・改善案など
環境・体制整備	①	利用定員に対し活動室等スペースが適切であるか	12			利用児童同士の相性や活動内容・状況によって適宜パーティションを用いて分離をはかるほか、建物内外のスペースを有効活用するなど創意工夫もおこなっています。
	②	職員の配置数は適切であるか	10	1	1	ビーライトしんわ： 基準の人数プラス加配職員を配置しています。 しんわブライト： 基準の人数を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	2	1	建物内にエレベーターや車椅子でも入れるトイレを整備しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	3		話し合える環境づくりを整えるよう努めています。 会議や日々の打ち合わせをPDCAサイクルを実践する場と位置付け、課題・問題点を明確にし、業務改善に向けた方法を話し合うことを通じて、全職員の認識や理解を共有し参画意識の向上を図っています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見を把握し、業務改善につなげているか	12			保護者向け評価表を用いたアンケート調査を実施しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	1		事業所の自己評価結果及び改善計画を公開しています。
	⑦	第三者による外部評価をおこない、評価結果を業務改善につなげているか	2	8	2	今年度は第三者による外部評価を実施していません。
	⑧	職員の資質の向上をおこなうために、研修の機会を確保しているか	9	3		対面、オンラインでの外部研修を勧奨すると共に、定例会議や日々の打合せでも外部で講師を請け負う専門性を有する職員による認知発達機構、学習システム、行動分析、行動支援、適応修正等の実践的な解説を適宜実施しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切におこない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11		1	子どもと保護者のニーズを聞きとり、職員集団で役割分担しながら子どもの活動の様子を観察し、情報を統合、共有した上で計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	3	2	アセスメントシート（基本情報シート）を使用し、計画に反映しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームでおこなっているか	10	2		定例会議と日々の打合せを通じて活動プログラムを企画・立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	1		小集団での遊びやレク、できる限り季節を感じられるようなイベントなど、様々な関連知識・情報の収集に努め、子どもたちからの感想や意見も参考にして、新たな活動プログラムの創出に積極的に取り組んでいます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	11	1		平日は短時間の中で設定された活動課題に取り組み、休日は公共交通機関を利用した施設見学や体験学習、遠方への外出、制作、調理など、長時間利用ならではの企画を提供しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	1		個々の特性に合わせた計画を作成しています。 グループ活動では全体の進行と並行して補足解説や帯同、部分代行など、個々人の特性に応じた個別サポートを実施しています。

		チェック項目	はい	わからない	いいえ	無回答	意見・改善案など
適切な支援の提供	⑮	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	1		1	日々の打合せにて前回の活動内容と子どもの様子を振り返って共有し、活動内容と支援における役割分担を確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りをおこない、気づいた点等を共有しているか	8	2	1	1	支援終了後に活動内容の振り返りを実施し日誌と経過録を記入することで情報の共有を図っています。急を要することや重要なことは即時に相互報告をおこなっています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11			1	経過録の入力を徹底し、支援方法の検証・改善に活用しています。
	⑱	定期的にモニタリングをおこない、放課後等デイサービス計画見直しの必要性を判断しているか	10	1		1	定期的にモニタリングを実施し、支援計画策定会議にて評価と必要に応じた修正をおこなっています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援をおこなっているか	9	2		1	自立支援、創作活動、余暇などの支援を集団と個別双方でおこなっています。引き続き職員へのガイドラインの周知を進めていきます。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	3		1	相談支援事業所との連絡調整をおこなっています。開催要請があれば適切な担当者が会議に出席します。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎対応、トラブル発生時の連絡)を適切におこなっているか	9		2	1	必要なケースについては関係機関との連絡調整をおこなっています。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で、情報共有と相互理解に努めているか	7	3	1	1	保護者の要望に応じて情報の共有をおこなっています。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供をしているか	9	2		1	本人・保護者の要望に応じて提供しています。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	7	1	1	左記機関の開催研修を積極的に受講するなど。意識を深めていきます。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	8	1	利用児童および保護者からの希望がないこともあり、直接の交流は図る機会を設定していません。
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		8	3	1	一昨年度、昨年度と平塚市自立支援協議会こども部会の代表者会のメンバーとして参画しました。同部会開催の研修にも積極的に参加しています。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について、共通理解できているか	10	1		1	送迎時の対話や、メール、電話連絡等を用いて積極的に情報共有に努めています。
	㉘	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援をおこなっているか	3	5	3	1	保護者からの個別の相談内容に応じて必要な知識・情報の教授および具体的対応方法の提案、フォローアップに努めています。

		チェック項目	はい	わからない	いいえ	意見・改善案など
保護者への説明責任等	②⑨	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか	10	2		利用契約時に説明をおこなっています。
	③⑩	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	10	2		保護者との定期面談のみならず、電話や送迎時にも相談を受け付けています。相談内容は即時に職員集団で共有し対応・支援方法を検討し、適切な提案、助言をおこなえるよう努めています。
	③⑪	保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	12			保護者会を開催しています。ビーライト単位1とブライイトは合同で活動課題体験会を、ビーライト単位2活動内容・状況の画像を用いた説明・報告をおこなっています。
	③⑫	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1		苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を設置しています。苦情や相談があった際、即時に情報共有を図り迅速な対応に努めています。
	③⑬	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	2	3	保護者会開催時期に合わせて事業関連情報を提供する現況報告文書を作成し配付しています。
	③⑭	個人情報に十分注意しているか	11	1		法人制定の情報管理規程に則り十分に注意し取り扱っています。
	③⑮	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	1		個々の特性に応じて、子ども本人にとって分かりやすい言葉や言い回し、文章表記、絵カード等で伝えるよう配慮しています。
非常時の対応	③⑯	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	2	5	5	見学、ボランティアの受入を随時おこなっています。
	③⑰	自然災害等発生時の閉所措置に関する取扱基準、感染症罹患時の対応について保護者に周知・説明しているか	12			「ビーライトしんわ・しんわブライイトにおける自然災害等発生時の閉所措置に関する取扱い基準」を配布しています。また、感染症等に関しては重要事項説明書にて説明をおこなっています。
	③⑱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救助その他必要な訓練をおこなっているか	10	1	1	併設する事業所(ビーライトは生活介護事業所、ブライイトは保育園)と連携し、定期的に避難誘導訓練を実施しています。また、災害時の送迎対応等の基準を定め、各家庭に配布し、職員には送迎時の災害対応マニュアルを周知しています。
	③⑲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12			外部および法人開催の虐待防止研修を受講しています。
	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束をおこなうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11		1	利用児童の身体拘束等行動制限の実施について、個別支援計画策定会議にて話し合い、身体拘束等行動制限実施計画書の確認及び身体拘束等行動制限実施承諾書に署名・捺印をいただくことになっていますが、現在は該当者がいません。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	5	1	保護者からの申請を受け、食物アレルギーの有無について書面で確認しています。ビーライトでは必要に応じて併設事業所の栄養士と情報を共有し対応しています。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	1		日誌システムでヒヤリハット体験報告及び事故報告を作成し職員全員で共有することで事故防止に努めています。